

普及活動情勢報告（平成 30 年 1 月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

牧野野菜の東京デビュー！ ～まるごと高知でお食事会～



珍しい食材を、どう調理すればより美味しいか？参加者間でも話が弾む

1 月 9 日、東京まるごと高知において、「Team Makino」主催で「土佐伝統野菜と土佐料理で祝う 2018 新年会」と題した、牧野野菜を始めとする伝統野菜のお披露目会を開催しました。参集者は著名なシェフ・パティシエ、バイヤー、マスコミ関係者のほか、牧野野菜と縁の深い牧野富太郎博士のひ孫さんや宮尾登美子先生の娘さんなど、総勢 81 名の参加がありました。

伝統野菜を使った料理やサンプル展示のほか、熊澤代表と三越伊勢丹フードサービス雨宮部長による公開トークも行いました。普及所は事務局として、提供食材の準備や当日の受付、牧野野菜に関する質問への対応などを行いました。

今後も伝統野菜の販路拡大に向け、PR 活動等への支援にも力を注いでいきます。

新規就農者の経営安定に向けて ～経営開始型サポートチームの取り組み～



就農者の課題や今後の指導について検討中のチーム員

1 月 15 日、農業次世代人材投資事業（経営開始型）29 年度認定者の第 2 回サポートチーム会が開催されました。

高知市では、8 月に認定されたキュウリ農家 5 名に対して、市、農業委員会、JA、普及所で「経営・技術」「資金」「農地」など各分野の担当でチームを組み支援活動を行っています。普及所・JA 技術担当からは、栽培管理や収量等の営農状況を、農業委員からは、条件の良い空きハウスや雇用確保など、聞き取った対象者の課題や悩みを共有し、今後の支援策を検討しました。

今後は、現地確認や経営実績等もふまえ、作後半に向けたアドバイスを行っていきます。

高知の花を売り込め！ ～「高知の花」展示商談会～



アレンジメントコーナーで熱心に見学する参加者

1 月 17 日、大阪の大阪城城見ホールで「高知の花」展示商談会が開催されました。普及所管内からは 4 団体が参加し、関西方面の市場や仲卸業者と積極的な意見を交わしました。

普及所では生産者が円滑に商談が行えるよう、商談会の流れを確認するとともに協力して産地の PR に取り組みました。市場からは「品質は素晴らしいので輪数が少なくても欲しい」といった声が多く聞かれました。生産者からは自身の栽培の強みや品目の PR などを行えたことで、「求められる花の品質や量、時期を直接聞くことが出来た」、「検討してみたい」など前向きな意見が出ました。

市場関係者などの意見を管内の花き生産者にフィードバックしながら、引き続き選ばれる産地づくりに取り組んでいきます。

長期研修生に J A 高知市の農業の魅力を P R ～農業担い手育成センターの座学にて～



高知市の魅力を全力でアピール

1 月 18 日、農業担い手育成センターの座学の一環で、長期研修生 7 名に対して J A 高知市園芸部の産地提案書について紹介し、高知市への移住・就農を P R してきました。

長浜ユリと㊦ショウガの提案内容と支援策について紹介した後、「少し田舎、少し都会の『暮らすにぼっちり』高知市」の暮らしの魅力をアピールしてきました。

研修生からは、「今までと違うイメージの高知市の農業を知ることができた」、「人手は実際どのくらい必要？」といった声があり、産地の魅力を十分に理解してもらうことができました。

今後も担い手の確保・育成に向け支援活動を続けていきます。

前年の反省をいかして水稻生産に励もう！ ～ J A 高知春野水稻部会～



昨年を振り返る生産者

1 月 19 日に、J A 高知春野大会議室で水稻の栽培講習会を開催し、23 名の参加がありました。

普及所からは、まず 29 年産の天候や生育について振り返り、育苗時期の根張りの悪さや苗立枯病の発生が問題であったことを説明しました。その上で、30 年産に向けた栽培管理の注意点として、育苗センターから引き取ってきた苗の温度管理や水管理について指導を行いました。また、全農からはおすすめの農薬や効果的な使い方などについて説明がありました。

今後も、安定した水稻の生産に向けて、関係機関と連携しながら指導をしていきます。

梅ノ木ファームが法人化について集落関係者に説明し、参加者を募りました！



いよいよ大詰めの会議

1 月 24 日、高知市鏡梅ノ木の梅ノ木公民館で、梅ノ木ファームが農事組合法人となることについて、8 名の発起人が現ファームや集落の関係者など 6 名に説明しました。法人化へのいきさつや意義、新組織の定款や事業計画を説明し、組合員や出資を募りました。普及所は、定款や事業計画の作成を支援してきました。会では、参加者から「なぜ法人化したのか」、「法人化のデメリットは」といった質問が出て、法人化への関心の高さがうかがえました。

普及所は、4 月 18 日の法人組織設立日に向けて、梅ノ木ファームの法人化を、引き続き支援していきます。